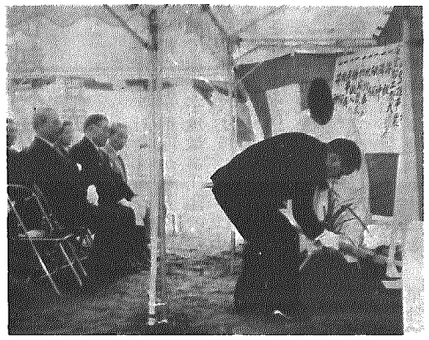
横越中央土地区画整理事業

300区画の大規模宅造が本格的にスタート

保留地70区画の予約を受け付け中



起工式で鍬入れをする武藤理事長

横越中央土地区画整理組合では、五月十四日に役場庁舎周辺十一・一㌶で進めている土地区画整理事業の起工式を行い、本格的な宅地造成工事に着手しました。

横越中央土地区画整理事業は、昨年新たに市街化区域に編入された役場庁舎周辺十二・八㌶のうち、庁舎敷地と保育園敷地を除いた十一・一㌶を、地権者により設立された土地区画整理組合（理事長・武藤繁男氏）で宅地造成するもので、昨年のうちに埋立を完了して準備を進めてきました。

造成計画では、十一・一㌶に三百区画（一区画平均二百六十四平方㍍）を予定し、六十四年度完成をめざしていますが、来年三月までに、区画街路（舗装除く）や上水道・公共下水道・都市ガスなどの環境整備を行う予定となっています。

宅地分譲も、既に地権者が工事費充当分として負担した保留地七十区画について、予約受け付けを開始していますが、恵まれた生活環境と立地条件から大変好評で、既に予約申し込みが相次いでいます。

また、残りの区画も順次分譲することになっていますが、将来人口九百人を目標に順調な宅造が見込まれており、活力に満ちた魅力ある街づくりになるものと期待されています。

木津地区に籾乾燥調製施設

秋の稼働に向け工事進む

横越村農協は、九月の水稲の収穫を前にして、いま、木津地区に籾乾燥調製施設の建設を進めています。

これは、生産性の高い農業の確立などをめざし、昭和五十九年度から木津・二本木地区で進めている新農業構造改善事業の一つで、横越村農協が事業主体となり木津農協倉庫裏に建てられます。

籾乾燥調製施設は、ドライストア方式（籾の一時貯留ができる）で、処理能力百二十㌧、玄米にして一万一千二百俵（一俵六十㌔）。鉄骨造り平屋建て延べ面積八百九十九平方㍍の建物に、大型乾燥機一基、予備乾燥設備（貯留ビン・一基五十㌧）五基、自主検査設備一式、籾すり機一台、そのほかに事務室、宿直室などが備えられており、総事業費は一億八千六百十万円。

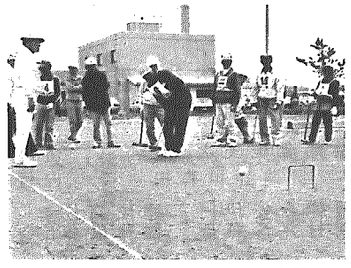
また、この施設には公害防止対策として、粉じんを除去するための湿式集じん設備や騒音を遮断するため壁材に遮音材等を使用するなど、公害防止にも万全の対策が講じられています。

初年度にもかかわらず、秋の稼働までには八十㌫程度の利用が見込まれており、就農者の高齢化や兼業農家が増加するなかで、共同化により農家の過剰な機械投資を防ぎ、生産コストの軽減が図られます。

工事が進められる建設現場

第8回 横越村ゲートボール大会

二本木ゴロゴロCが優勝を飾る



21チームが参加して熱戦を展開

第八回横越村ゲートボール大会（老人クラブ連合会主催）

が五月十八日、横越村中央コートで開催されました。

今年からあらゆるゲートボール選手権大会出場への予選も兼ねることになった大会には、二十一チーム百四十名余りが参加し、親睦を深めるなかにも熱戦が繰り広げられました。

トーナメント戦で各コートから勝ち進んできた二本木ロートルA、沢海A、二本木ゴロゴロCの三チームによる決勝リーグ戦では、昨年全国大会に出場している二本木ゴロゴロCが実力を発揮して優勝しました。

成績は次のとおり

優勝　二本木ゴロゴロC
二位　沢海A
三位　二本木ロートルA

モデル事業で全国土地改良事業団体連合会長賞を受賞

さる三月、全国土地改良事業団体連合会主催による昭和六十一年度農村総合整備コンクールにおいて、〝豊かなくらし、住みよい農村都市を目ざし〟進めている。横越村の農村総合整備モデル事業が全国土地改良事業団体連合会長賞を受賞しました。

村のモデル事業は、昭和五十一年度より事業に着手し、これまでに、農村環境改善センター、農村公園、農業用排水施設、農道など生産基盤や生活環境整備を進めてきており、全体事業量（十七億二千万円）に対して六〇％の進捗率となっています。

特にこのコンクールでは、地盤沈下、地盤変動に伴う排水体系の障害解消と、用排水分離を観点とした用排水路整備を進めるなかで、一区画面積拡大の圃場整備も合わせ行い、土地の集積、有効利用を図ってきた各事業が認められたもので、今後の事業推進にも期待がよせられています。

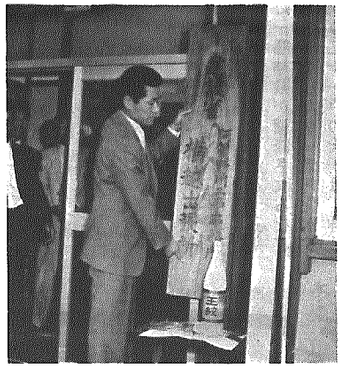
阿賀野川工事事務所

横越出張所が閉所

横越村に開所し、三十九年間、阿賀野川の治水行政を進めてきた横越出張所が、その歴史に幕を閉じることになり、五月二十六日に閉所式が行われました。

これは、国が進めている行財政改革の一環として、今まで三出張所で所掌していたものを二出張所に組織を統廃合し、新しい行政需要に対応しようというもので、現在まで地元事務所として、村行政や村民と密着した業務を行ってきた横越出張所が、惜しまれながらも閉所されることになったものです。

横越出張所は、戦時中の阿賀野川の荒廃と昭和二十一年の洪水を契機として、昭和二十二年七月から着手された第二期の直轄事業を実施するため、昭和二十三年九月一日に開所されて以来、昭和三十三年の過去最大洪水、昭和三十九年の新潟地震、昭和五十三年の長雨洪水などの災害復旧工事や、昭和五十七年に完成した安野川水門工事等の大規模な工事をはじめ、河川敷の占用、砂利採取、工作物設置などの許認可業務等の窓口業務を行ってきました。



庁札が取りはずされ、39年の歴史に幕を閉じる

閉所にあたって

阿賀野川工事事務所長　名川勝輔

私ども建設省は、阿賀野川が洪水に対して安全であり、阿賀野川の恵みを沿岸地域の方々に享受していただけるよう心がけて仕事をしているわけでありますが、皆様方ご案内のように、現在国では、行財政改革を進めておりまして、行政の仕組みを簡素化し、効率的な仕事をすることが要請されております。

この度、横越出張所が閉所することになりましたのは、このような行政改革の一環として、組織を統廃合し、新しい行政需要に対応しやすくしたものであります。

従来、横越出張所が担当しておりました業務については、沢海の床固め下流約一キロメートルの地点を上・下流出張所の管理境界としまして、下流を胡桃山出張所、上流を満願寺出張所がそれぞれ所管することになりましたが、今まで以上の行政サービスに努力する所存でございますので、今後とも従前以上のご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

水道週間 6月1日～7日

近代水道100周年記念シンボルマーク

〝水道がしあわせ広げた一世紀〟

現代のように、〝蛇口をひねれば水がでる〟といった近代水道は、明治二十年（一八八七年）に初めて、神奈川県横浜市にできました。当時の水道は、水を消毒していないことを除けば、原理的には現在の水道と全く同じで、ろ過した水に圧力を加え、鉄管を通して給水するという画期的なものでした。

今年は、日本に近代水道が誕生してからちょうど百年目を迎えます。現在、蛇口をひねれば水がでるということが当たり前だと思っている方が多いのではないでしょうか。水そのものは無限にわいてくる資源ではありません。

最近は、新しい水源を生み出すためにダムを造るなどしていますが、たいへんなお金と時間がかかります。また、水源の水の汚れが年々ひどくなるため、きれいな水道水にするための苦労は絶えません。

六月一日からはじまる「水道週間」を機会に、改めて水道の大切さを見直し、上手な使い方を考えてみてはいかがでしょうか。

村の商工会役員を改選

5月25日に総会

新商工会長　野村一衛氏

横越村商工会（会員二一二名）は、五月二十五日商工会館で第十三回通常総会を開催しました。

総会は、事業報告、収支決算報告に続いて、六十二年度事業計画及び収支予算等を原案通り可決しました。

また、任期満了による役員改選が行われ、新会長には野村一衛氏（現代表理事）が満場一致で選ばれました。

◎商工会新役員

（敬称略）

会長　野口一衛
副会長　渡辺秀吉
副会長　谷井篤光

理事
・阿部和義　・風間藤一郎
・石井博　・村木広
・小林泰助　・小林六助
・坂井良雄　・佐藤登志昭
・今井初江　・遠藤秀夫
・小田倉一　・佐藤正男
・野口申三　・阿部正雄

監事
・佐藤三次　・佐藤忠昭

お知らせ

新潟市の日曜・祭日における駐車場案内情報の提供

新潟市の日曜、祭日の交通実態は、買物客車両の路上駐車や駐車場の入庫待ちで路上にあふれた車両等による交通渋滞が発生しており、一般車両に著しい迷惑をかけるとともに、これら車両が原因による事故等も発生しています。

そのため、県警察本部では、駐車場関連利用者の利便とこれら車両の適正な分散を図り新潟市内の円滑な交通流を確保し、交通渋滞の解消及び交通事故を防止するため、県警交通管制センターから駐車場案内情報が次のとおり提供されています。

▼情報提供日時
毎日曜、祭日午後0時から午後5時までの間

▼情報提供内容
新潟市内中心部の有料駐車場42箇所を7ブロック（西堀上地区、西堀下地区、東堀上地区、東堀下地区、万代シティー地区、駅前地区、駅南地区）に分けて、個々の駐車場の満車、空車、待ち時間等についての問い合わせに対して電話で最新の情報を提供する。

▼問い合わせ先
県警察本部交通管制センター　☎二八四―三一三一